

令和3年度 学校評価アンケート(教職員) 【結果】

| | |
|---------|--|
| 目指す学校像 | ・教科の学習および特別教育活動等の適切な指導により個人の能力を充分伸長させ、勤労愛好と協同一致の精神を育成し、かつ、礼儀と責任を重んずる気風を養成する。 |
| 育てたい生徒像 | ・技術人として肝要な合理的、科学的、創造的精神を養い、規律を重んじ、質実剛健 有能で誠実な産業人を育成する。 |

| | |
|--|---|
| 本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する) | 1 授業の充実・改善を行い、主体的な学習習慣と確かな学力の定着を図る。 |
| | 2 基本的な生活習慣を確立させ、心身の成長と規範意識の向上に努める。また、感染症等の対策を万全にし、安全・安心を担保する。 |
| | 3 工業高校として特色ある学校づくりを推進し、地域連携や広報の充実を図る。 |
| | 4 地域の企業等との連携を密にして産業を支える人材を育成する。 |

| | | |
|-----|---|-----------------|
| 達成度 | A | 十分に達成した(80%以上) |
| | B | 概ね達成した(60%以上) |
| | C | あまり十分でない(40%以上) |
| | D | 不十分である(40%未満) |

*右側の達成度の空欄に○印をご記入ください。(12項目あります)

| 自己評価 | | | | | | | | |
|-------|--|--|--|---|-----|----|----|---|
| 重点目標 | | | | | 達成度 | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的取組 | 評価指標 | A | B | C | D |
| 重点目標1 | 生徒は穏やかであり、授業は円滑に行われているが、習熟度授業や個別指導などにより基礎学力の定着を図る必要がある。また生徒のやる気をさらに引き出し、学習意欲の向上と主体的な学びを実現できるような授業を展開するため、教科間で連携して研鑽を積む必要がある。 | ICT機器の活用やグループ学習などによる教育活動を積極的に実践し、生徒の主体的・協働的な学びとなるような授業改善に取り組んでいるか。生徒が意欲的に学習できる魅力ある授業となっているか。 | 授業規律の定着 家庭学習習慣の定着 | 授業開始時の教科書・ノートの準備の徹底、レポート指導等の充実と成績の変化 | 7 | 20 | 2 | 0 |
| | | | 研究授業や公開授業を行い、授業方法の研究を図る | 校内外に向けた研究授業、公開授業を実施 | 0 | 8 | 12 | 9 |
| | | | 生徒による授業評価の効率的な活用 | 生徒による授業評価をもとに授業の改善・検証の会議を実施 | 0 | 20 | 9 | 0 |
| | | | 学び直しの充実と、学びに向かう力の醸成を計画的に実施 | 苦手克服と生徒個々の成果を確認、評価 | 2 | 20 | 7 | 0 |
| 2 | 挨拶、身だしなみ等、生徒の規範意識や態度はかなり改善している。今後も基本的な生活習慣の確立やコミュニケーション能力の育成に努め、自主自律的精神の充実や社会に通じる生きる力の育成を、組織的に指導していくことが重要である。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため万全の対応が必要である。 | 基本的な生活習慣の確立や時間を守ること、挨拶等ができていないか。教員や仲間自分の気持ちや考えを伝えられているか。相手を思いやる気持ちができていないか。感染リスクの低減を十分に図っているか。 | 家庭連絡の徹底と生活習慣の確立 | 三者面談や保護者との連絡の回数、遅刻生徒数の前年比10%の減少 | 1 | 15 | 12 | 1 |
| | | | 職員全員による挨拶と声かけの奨励、登校指導及び校内巡視 | 全職員からの積極的な声かけ100%実施、生徒指導件数を0に近づける | 2 | 12 | 11 | 4 |
| | | | いじめ未然防止等に係る生徒への関わりや教職員の人権教育に係る意識と指導力の向上 | 年3回以上の研修を行い、対応マニュアルの確認や人権教育内容の充実改善 | 3 | 14 | 11 | 1 |
| | | | 近隣校等との情報共有を図り、関係機関と連携を深める。 | 新型コロナウイルス感染症罹患患者0名 | 24 | 5 | 0 | 0 |
| 3 | 実習・実習等を通して匠の技能や新しい技術の習得、ものづくりの楽しさを深め、資格の取得等を促進している。また安全教育的な充実も求められている。その成果や本校の魅力を保険者や地域、中学生に積極的に発信するとともに、より地域に開かれた学校づくりを推進していく必要がある。 | 地域社会に意欲的に貢献しようとする態度や資質、能力が育成されているか。中学生の希望する進路先となり得ているか。事故が起こらないような環境作りが出来ているか。 | ものづくりを中心とした教員研修の充実 地域企業技術者による講習 | 夏季研修等を利用した技術講習会や、事業所での研修への参加 地域企業技術者の招聘 | 1 | 10 | 18 | 0 |
| | | | ホームページ等を活用した積極的な情報発信 広報活動の充実と中学校との情報交換の徹底 | ホームページのリニューアルやマンスリータイムズ等の地域配布、中学校教員対象の学校見学会を実施 | 6 | 12 | 10 | 1 |
| | | | 実習・実験前の安全教育、事故防止事前チェック | 事故・怪我等件数0 | 6 | 16 | 7 | 0 |
| | | | | | 21 | 55 | 24 | 0 |
| 4 | 現在の社会情勢から求人も増加し、就職内定率は100%を達成している。引き続き、望ましい勤労観・職業観や社会性を育成し、生徒が主体的に自己の進路を選択できるよう、より系統的、組織的なキャリア教育の充実に取り組んでいくことが重要である。 | 自ら目標を設定し進路選択が出来ているか。また職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基本的な力が身についているか。 | 個人面談や進路ガイダンス、応募前職場見学の実施 | 就職内定率100%の確保と全員の第1志望企業の内定、早期離職者数0を目指す | 7 | 20 | 2 | 0 |
| | | | 校友会や関係機関との連携を深める。「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」を積極的に推進。生徒、保護者、企業等と連携を深めながら計画的に実施 | 工場実習、職場見学の実施 志望大学等進学率100% 「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」の推進。生徒、保護者、企業等と連携を深めながら計画的に実施 | 24 | 69 | 7 | 0 |